

# めぐニュース

かぐめよし少年自然の家だより 令和5年10月発行

日本の最高峰は、言わずと知れた富士山。標高3,776mである。子どもの頃、この富士山とどちらが高いかを、人々がうわさをしあつた山についての昔話を讀んだか、聴いたかした覚えがある。

まだ、山の高さを測る術がなかった昔、人々は山々の重なるの向こうに、ひと際高く聳える高い山を見て、いったいどれ程高いのだろうか思いを馳せたに違いない。〇〇街道から見える〇〇山が高い。いや〇〇山の方が・・・そして富士山と日本一の座を競つたのは、なんと北九州市最高峰の福智山である。富士山と福智山の上に、長い雨樋をかけて、水がどちらに流れるかで高さを比べたという他愛のない話だつたと思う。

市街地から南の空に、ごつごつした岩を抱く福智山の山頂を見るたびに、このお話しを思い出す。山頂からは、玄海灘に浮かぶ沖ノ島、南は九重、南西には雲仙普賢岳まで見通せる。絶景である。

秋が深まるとススキの穂に覆われ、黄金色に染まる福智山の2合目付近に少年自然の家は位置する。

急な上り坂を声を掛け合つた友達のこゝろ、息を整える間見上げた樹間から見える空、立ち止まつた足元にひっそりと咲く可憐な花、美しく響く野鳥の声、山頂から眼下に広がる景色。登山で感じられるもの、得られるものは、はかり知れない。たとえ山頂までたどりつけずとも・・・来たれ福智山へ！



## New Staff

### 松本 和彦 (まっつん)

九月よりスタッフに加わりました「まっつん」です。レトロの街「門司港」関門海峡が目の前に広がる街から、山の自然いっぱいの「かぐめよし少年自然の家」までのんびり通勤しています。スタッフのみなさんの知識の多さ、行動の早さに日々驚き、毎日、学ぶこと、知ることがたくさんあつて悪戦苦闘してます。早く「かぐめよし自然の家」での生活・仕事が心から楽しめるようになればと思います。よろしくお願ひします！







# 主催事業報告



## 親子でかぐめよしダムカヌー

梅雨の真っ只中、お天気が心配でしたが、無事にカヌーを行う事が出来ました！はじめは少し不安そうな表情のお子さんもいらっしゃいましたが、慣れてくると周りの景色が見えるようになり、湖面に出るとスイスイ～、と自由自在に漕ぎだしました。途中で夏鳥のアカショウビンや、ハルゼミなどの声も聞こえ、気持ちのいいカヌーが出来たのではないのでしょうか。帰りは大人も混じってカヌーレースをして、大いに盛り上がりました！



## 水環境体感キャンプ



8月1日～4日にかけて行われた水環境体感キャンプでは、16人の団員が、川の中を歩いて、紫川の始まりの場所を目指しました。

川の中を初めて歩く団員たちは、一步一步が一苦労！何度も転びながら一生懸命進んでいきました。キャンプ地に着くころにはみんなへとへとになっていましたが、ご飯を食べてぐっすり寝たら次の日にはまた元気いっぱい出発していきました。

夜は講師を招いて、地球の話や、北九州の川の話聞いて楽しく勉強しました。

最終日は山の神川と吉原川がぶつかる紫川の起点へ無事到着。3泊4日の旅を終えました。

## 第3回かぐめよし自然少年団

今回は、紫川を楽しむ！ということで、1日目は、かぐめよしダムカヌー、2日目は紫川源流本物川体験をしました。初めてのカヌーに心配顔だった新入団員も、かぐめよしダムを見て戻る頃には、アメンボのように自在にカヌーを操っていました。本物川体験では、紫川源流の清冽な流れに身を浸し、暑さも吹っ飛ばしていました。夜には、第1回かぐめリンピックを実施しました。班対抗や個人対抗で巻き結びや、もやい結びなどのロープワークを競い合い、アウトドアスキルを高めました。

第4回では、秋のかぐめよしを満喫しましょう！！





# 家族でキャンプだホイ!



7 家族が集まり、テント泊、川体験、野外調理やキャンプファイヤーと、盛り沢山のキャンプとなりました。特に、キャンプファイヤーでは、レクリエーションをしたり、事業名にもなっている『キャンプだホイ』を歌ったりして秋の夜長を楽しみました!これをきっかけに野外活動を楽しんでいただければ幸いです♪



## 第1回はじめての陶芸教室

まずは、来年の干支「辰」の土鈴づくりに挑戦しました。どの辰も個性的な顔つきにしたり、迫力のある前脚をつけたりなど工夫もいっぱいでした。次の湯呑みづくりでは、紐づくりの手法で作りました。



大皿づくりでは、どんな皿にするか家族で話し合い、協力合って1枚の皿に仕上げました。

作品は、しばらく乾燥させた後素焼きをします。次回11月5日の陶芸教室は、釉薬をかけていきます。どんな作品に仕上がるか楽しみです。

※7月1(土)~2(日)に予定していましたが「かぐめよし自然少年団③」は荒天予報だった為、中止しました。

## 主催事業のお知らせ

## 11月~1月

	事業名	時期	対象者・人数
11月	第2回はじめての陶芸	11月5日(日)	1回目の参加者
	かぐめよし自然少年団④	11月11日(土)~ 11月12日(日)	かぐめよし自然少年団に所属する団員
	市民センター職員等研修会	11月24日(金)	市民センター職員等
12月	クリスマスリース作り	12月3日(日)	小・中学生とその保護者7家族
	ぺったんぺったんお餅つき	12月9日(土)~ 12月10日(日)	小・中学生とその保護者15人
	第2回ボランティア研修会	12月17日(日)	施設ボランティア
1月	かぐめよし自然少年団⑤	1月13日(土)~ 1月14日(日)	かぐめよし自然少年団に所属する団員
	親子でワクワク!工作教室	1月21日(日)	小・中学生とその保護者5家族
	放置竹林対策事業	1月27日(土)	大人(18歳以上)10名

※主催事業の募集は全て市政だよりに掲載します。応募は市政だよりをご覧ください。お申込み下さい。

# 頂吉凶鑑 ～第33回～

## 桑 (クワ)



今回ご紹介するのは、桑 (クワ) です。かぐめよしには桑の木がたくさんあります。クワには、マグワとヤマグワがあり、山に自生するのはヤマグワです。かぐめよしに生えているのはどちらでしょうか。どちらの特徴もあり、はっきりとわかりません。地域の方に尋ねてみても、昔、養蚕をしていた家はなかったとのこと。ヤマグワでしょうか？

クワといえば蚕。名の由来も、蚕葉 (コハ) が転訛したもの。若しくは、蚕が食う葉、食葉 (クハ) が転訛したものと、どちらも蚕に密接な関りがあります。日本では各地で養蚕をしていましたから、少し前までは、桑の木はとても身近なものでした。

いろいろな説がありますが、怖いときに唱える呪文、「クワバラ、クワバラ」は、養蚕のための桑畑を、桑原と呼んだことにちなみます。桑畑は、蚕の餌となる桑の葉を手で取れるように、低く剪定していました。雷がなったら桑原に逃げ込めば大丈夫だということから唱えられるようになったそうです。

6月頃にはブラックベリーのような実がたくさんあります。子どもころ桑畑の中で、桑の実を夢中になって食べたことを思い出します。服に付かないように注意しても、舌が紫になるので寄り道したことがすぐにばれてしまうのが難点でした。

かぐめよしの桑の木は、剪定されていませんので、とても大きく10m以上あるものも。実 (ミ) は、手に届くところにはありません。高いところは鳥が、落ちた実をタヌキやアナグマが食べに来ます。

材としては、いろいろな物に使われてきました。火鉢や茶道具は有名です。杓が美しく、色も黄色みがかかった深みのある褐色で、所のプログラムの木のキーホルダーの材料としても人気があります。

川べりに並んで生えている大きな桑の木を是非見に来てください。



### 北九州市立かぐめよし少年自然の家

住所: 〒803-0267

北九州市小倉南区大字頂吉451-1

電話: (093) 451-3111 FAX: (093) 451-3133



Facebook



Instagram